

GC

GC GROUP

GLOBAL CSR REPORT 2023

健康長寿社会の実現のために 挑戦を続ける

私どもは1921年の創業以来100年に渡り、社は「施無畏」の下、世界中の歯科医療に関わる人々に“高品質の製品・情報・サービス”を提供し、口腔健康の向上に取り組んできました。

近年では、口腔の健康は全身の健康と密接に関連していることが明らかになっており、口腔の健康維持は全身の健康維持のために欠かせないものとされています。ジーシーグループでは、世界中の人々にいつまでも長く、笑顔で元気に過ごして頂けるように次の100年に向かう最初のマイルストーンである2031年に向けて「Vision 2031:健康長寿社会を実現する歯科界のリーディングカンパニーとなる」を定めました。「リーディングカンパニー」には、ただ売上No.1を目指すのではなく、ジーシーの全てのステークホルダーにとって唯一無二の企業となるという強い想いを込めています。2031年に向かって唯一無二の企業となる努力をし、グループ一丸でVision 2031の具現化に挑戦を続けて参ります。

GC Holding AG
会長

中尾 吉

TOP MESSAGE

トップメッセージ

更に、ジーシーグループではVision 2031達成のためのMissionの一つとして『口腔ケアの普及と環境維持活動への取り組みによる、「持続可能な社会」への貢献』を定めています。また、今後の企業活動の方向性を示すマテリアリティ(重要課題)も策定しました。マテリアリティは「製品・サービスを通じた歯科医療課題への対応」「責任ある製品・サービスの提供」「魅力ある職場の実現」「環境への配慮」「ガバナンスの強化」としており、これらの取り組みを通じて、更に社会的な役割をグループ全体で果たして参ります。

創業より現在までの長きに渡り、ジーシーグループを支えて頂きました皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。これからも、社は「施無畏」の精神の下、健康長寿社会実現のために歯科医療に価値を提供していく唯一無二の企業となるべく取り組んでいきたいと思っております。

株式会社ジーシー
代表取締役副社長兼COO

篠崎 裕



トップメッセージ	01	セミナー・学術活動	20
沿革	04	安全と安心をお届けする品質保証体系	21
フィロソフィー		生産技術のレベルアップ	22
CSRの基本的な考え方	05	サプライチェーンマネジメントの強化	23
社是 施無畏	06	03 魅力ある職場の実現	
Vision 2031	07	働き甲斐のある職場づくり	24
ステークホルダーについて	08	働きやすい職場づくり	25
ジーシーについて		ダイバーシティの推進	26
事業領域	09	人材の育成	27
ジーシーグループ	10	健康増進	28
マテリアリティ		労働安全の推進	29
ジーシーグループの5つのマテリアリティ	12	COVID-19への対応	30
01 製品・サービスを通じた歯科医療課題への対応		04 環境への配慮	
高齢化が進む社会への貢献	13	包装材料の見直し	31
新しい歯科医療課題への対応	14	エコ評価シートによるCO ₂ 排出量の把握	33
大学研究機関とのコラボレーションによる イノベティブな製品開発	15	再生可能エネルギー利用による環境負荷低減	34
新興国へ向けたスマートクオリティ製品の創出	16	環境保全に関する活動	35
口腔衛生向上のためのボランティア	17	省エネルギーの推進	36
大災害時の緊急援助と歯科診療の 復興に向けた取り組み	18	05 ガバナンスの強化	
02 責任ある製品・サービスの提供		コーポレート・ガバナンス	37
GQM(GC's Quality Management)活動	19	コンプライアンス	38
		リスクマネジメント	39



Since 1921
100 years of Quality in Dental



© 2021 OVER ALLS

〈表紙の写真について〉

富士小山工場の巨大なウォールアートは2021年の創業100周年を記念して描かれました。

創業者の一人である故・中尾清と、清の「富士山に見える場所に、工場を建設したい」という思いに着想を得て、ここから世界を見ていこう、製品をお届けしようというジーシーの思いを描いています。

私たちの次の100年は始まっています。

常にお客様の立場で発想し、お客様の立場で行動する。

これまで100年続いてきた、「施無畏」の想いは、

これからも変わることはありません。

ともに世界へ、そして、ともに未来へ。

これまでの100年、そしてこれからの100年へ

HISTORY 沿革

2022年(令和4年) GCグループのコーポレートガバナンスの強化と新体制の発足 ※P.37参照

2021年(令和3年) 新たな100年への最初の一步となるVision 2031発表 創業100周年記念式典を挙げる

2019年(令和元年) GC Europeが Global Excellence Award 2019 を受賞

2016年(平成28年) 品質経営度調査で1位獲得

2014年(平成26年) GC America アイミング賞受賞

2013年(平成25年) スイスにGC International AG設立 中尾眞会長、中尾潔貴社長就任

2004年(平成16年) 日本品質管理賞受賞

2003年(平成15年) 而至歯科(蘇州)有限公司竣工

2000年(平成12年) デミング賞実施賞受賞

1995年(平成7年) GC活動からGQM活動へ

1992年(平成4年) GC America 設立

1991年(平成3年) 株式会社シーシーに社名変更

1983年(昭和58年) 中尾眞社長就任

1981年(昭和56年) 創業60周年、中尾敏男社長による「GQC宣言」

1972年(昭和47年) ベルギーにヨーロッパ支店開設

1966年(昭和41年) 中尾敏男社長、中尾清会長就任

1946年(昭和21年) 社名を而至化学工業株式会社に改め、中尾清社長就任

1934年(昭和9年) 株式会社組織とし、社長に円城芳之助 専務取締役に中尾清就任

1925年(大正14年) クリスタリンセメント完成、大日本歯科医学会総会に展示発表

1922年(大正11年) 最初の製品スタンダードセメント失敗

1921年(大正10年) 東京池袋にチーシー化学研究所を設立、燐酸亜鉛セメントの研究に着手 [創業1921年2月11日]

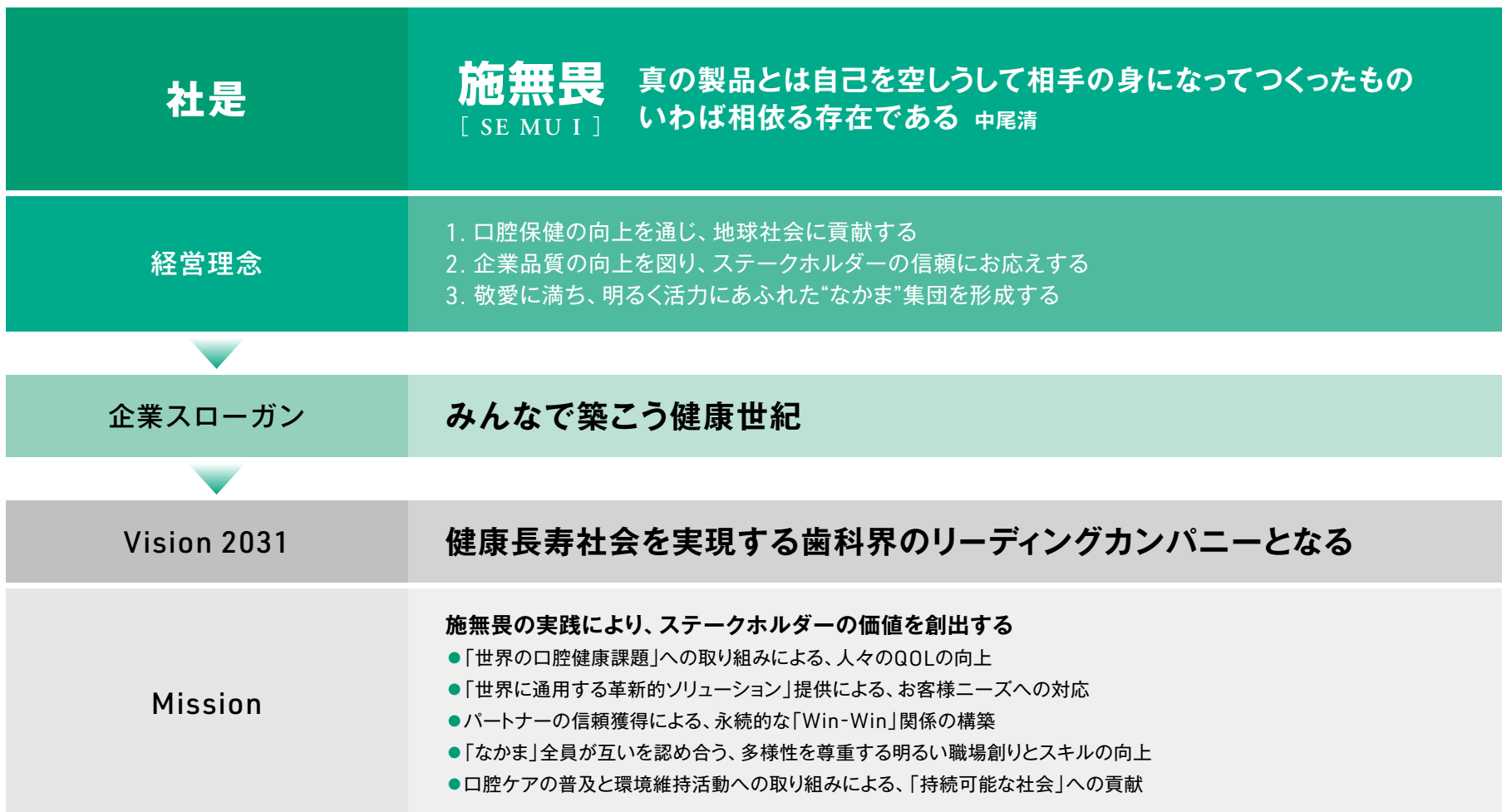
CSRの基本的な考え方

ジーシーグループのCSRの原点は、「施無畏」という創業の精神にあります。相手の立場にたってすべてを行うというこの教えは、100周年を迎えた現在も社是として受け継がれており、ジーシーグループは企業活動のすべてにおいて「施無畏」の精神を実践しているのです。世界中の「なかま*」の一人ひとりが、社是のもとを思いを一つにし、「健康長寿社会」の実現を目指します。歯科医療総合メーカーという事業そのものを通して、人々の健康に関わる様々な課題解決に貢献したいと考えています。

※ジーシーでは経営者と社員の区別はなく、働くすべての人々を“なかま(Associates)”と呼びます。

PHILOSOPHY

フィロソフィ



社是

施無畏 [SE MU I]

ジーシーでは、
創業者の一人である中尾清が
提唱した社是として、
「施無畏」という言葉を掲げています。
ジーシーではこの教えを基に、
お客様の立場にたち、
お客様からみた
価値の実現を第一に考えた
真の製品づくりを実践するため、
いずれの部署に所属していても
個我を離れてお互いに敬愛する
“なかま”の集団として
行動しています。
この教えは、
法華経の観世音菩薩普門品
第二十五の中にあり、
いわゆる観音経の中心思想を
なすもので、
広義には“個我をはなれての無我”
“純客観”“慈悲”“大智”
などで表現されます。

真書



施無畏



Vision 2031

健康長寿社会を 実現する歯科界の リーディング カンパニーとなる

私たちの目標は、ただ売り上げNo.1を目指すことではなく、
ジーシーのステークホルダーにとって“唯一無二”の企業となること。

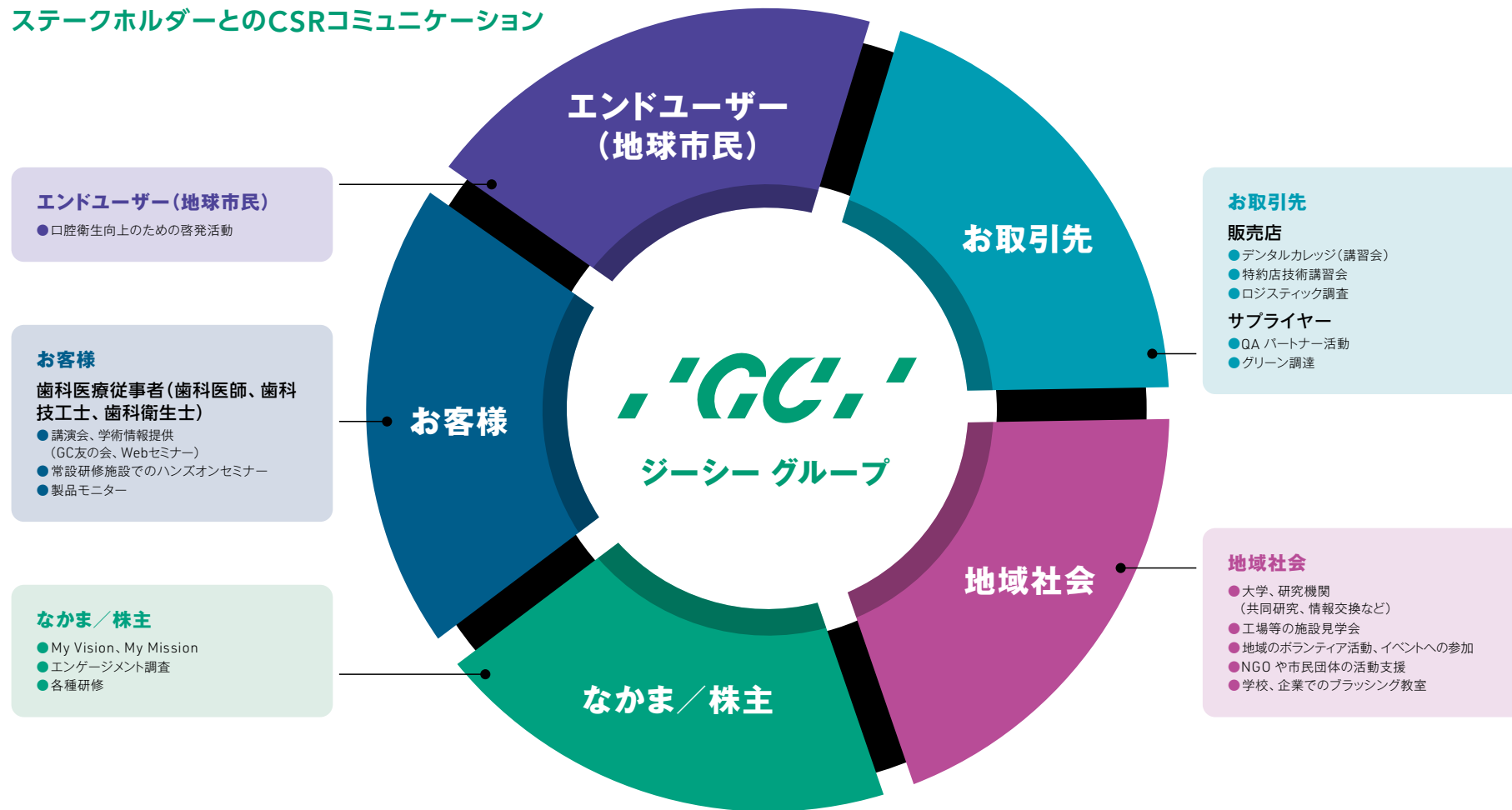
幅広いステークホルダーとの関わり

ジーシーグループは、歯科医療総合メーカーとして、エンドユーザー（地球市民）、お客様、お取引先、なかま／株主、地域社会といった幅広いステークホルダーとコミュニケーションをとっています。こうした関わりの中で、質の高い歯科医療製品を最新の情報やきめ細かなサービスとともに提供し、世界の人々の健康長寿に貢献すること。それがジーシーグループのCSRの特長です。

ステークホルダーとのCSRコミュニケーション

STAKEHOLDER

ステークホルダーコミュニティ



事業領域

ジーシーグループは、地球市民の口腔保健の向上を実現していきます。

ジーシーの優れた技術から生まれる歯科医療製品は、世界中の歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士の皆様を通じ、多くの市民の健康に貢献しています。そして今、ジーシーは世界的な歯科医療総合メーカーとして「地球市民の口腔保健の向上」を実現すべく新しい価値を創造していきます。

ABOUT US



地球市民の口腔保健の向上

グローバルネットワーク

世界の多様な市場に対応し、その国・地域の事情やニーズにあわせた製品・サービスを提供するマルチナショナルな事業を展開するため、グローバルなネットワークを強化しています。

サービスと情報提供

「サービスと情報」というもう一つの品質にもこだわります。世界のお客様の視点に立ったサービスと情報を提供し、お客様ニーズに対応してまいります。

研究開発

潜在的なニーズをとらえ、営業部門や生産部門、企画部門とのコミュニケーションを図ることにより、まだ市場にない創造性豊かな製品や技術、独創的な価値を生み出していきます。

製造技術・品質

ジーシー版TQM活動であるGQM® (GC's Quality Management) 活動や、社員一人ひとりが参加する現場からの改善活動や工場革新活動の推進により、世界最高水準の品質を誇るものづくりを実践しています。

※P.19参照

なかま

ジーシーでは経営者と社員の区別はなく、働くすべての人々を“なかま(Associates)”と呼び、常に相手の良いところを見つめ、お互いを敬愛する“なかま”集団を形成しています。

ジーシーグループ

ジーシーは1921年に日本で創業し、1972年にベルギー・コルトレイクに初の日本以外の事務所を設立しました。以来、歯科材料および関連機械・器具の製造販売を通じて、それぞれのエリアで求められる製品・サービスにお応えできるよう体制を整えてまいりました。現在では、34ヶ国に営業拠点を有し145ヶ国に販売しています。また、取扱品目は24,076品目に及びます。

マネージメント

- GC International AG

日本

- (株)ジーシー
- (株)ジーシーR&D.Mfg
- (株)ジーシーデンタルプロダクツ
- (株)ジーシーアサヒ
- 大成歯科工業(株)
- (株)ジーシーインターナショナル
- (株)日本歯科商社
- (株)デンタルダイヤモンド社
- (株)ジーシーデータランド
- (株)ジーシーアイコミュニケーションズ
- (株)ジーシーオルソリー
- (株)ジーシー昭和薬品

アメリカ

- GC America Inc
- GC Manufacturing America LLC
- GC South America
- GC Orthodontics US Inc
- GC Laboratory America Inc
- GC Mexico S.A. de C.V.

ヨーロッパ

- GC Europe AG
- GC Europe N.V.
- GC Europe Manufacturing N.V.
- GC Laboratory Europe esv
- GC Italy S.R.L.
- GC Iberica Dental Products, S.L.
- GC Austria GmbH
- GC Danmark Aps
- GC Finland Oy
- GC Germany GmbH
- GC France SAS
- GC Sverige AB
- GC Turkey Ltd
- GC UK Ltd
- a.tron3D GmbH
- GC Orthodontics Europe GmbH
- Stick Tech Oy
- GC Tech. Europe GmbH
- Creation Willi Geller International AG
- Creation Willi Geller International GmbH
- Creation Willi Geller Deutschland GmbH
- CL MecidDent GmbH
- ZL Microdent-Attachment GmbH & Co. KG
- ZL Microdent-Attachment Verwaltungs GmbH
- Klema Dentalprodukte GmbH
- Klema D.o.o

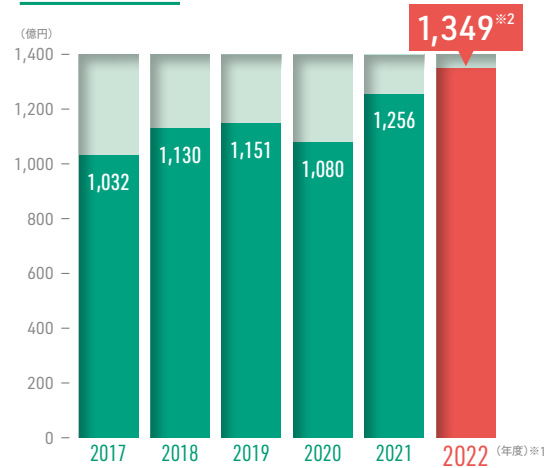
アジア・オセアニア

- GC Asia Dental Pte Ltd
- GC Australasia Dental Pty Ltd
- GC India Dental Pvt Ltd

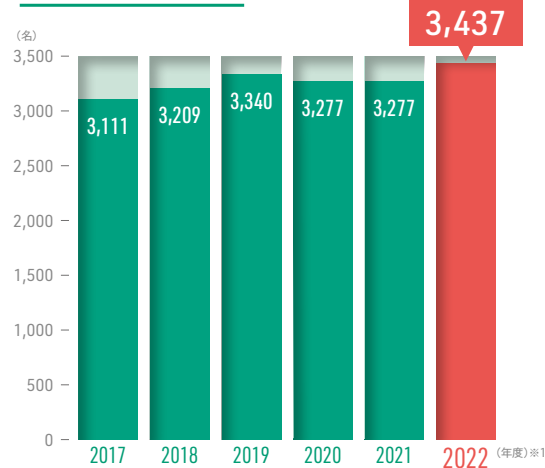
東アジア

- GC Korea Co., Ltd.
- GC Taiwan Dental Corp.
- GC Dental (Suzhou) Co., Ltd.

連結売上高



グループ社員数



※1 会計期間の変更
2017年度～21年度は10月～9月、2022年度より4月～3月に変更

※2 会計基準及び売上計上基準の変更
・2022年度よりスイス会計基準による連結決算に変更 (スイスフラン建て作成)
表示金額は円換算にて表示 (1CHF=144.25円 2023年3月31日レートで換算)
・売上高計上基準を純売上高に変更

ジーシーグループの 主要拠点

ABOUT US
ジーシーグループ

GC America



GC Korea



GC International AG



GC Europe



GC Taiwan



GC Corporation(日本)



GC Asia



GC Suzhou



ジーシーグループの5つのマテリアリティ

ジーシーグループは1997年に「環境方針」を制定し、本格的な環境管理活動をスタートさせています。2021年に定めたVision 2031を機に歯科医療課題に向けた研究開発や健康増進、働きやすさなど持続可能な社会への取り組みをより一層進めており、あわせて今後の方向性を示すマテリアリティ(重要課題)を策定し、さらなる活動の促進をグループ全体で図っています。

01

製品・サービスを通じた 歯科医療課題への対応

- イノベーティブな製品・サービスを通じた歯科医療課題への対応



02

責任ある製品・サービスの提供

- 品質と信頼の追求
- サプライチェーンマネジメントの強化



03

魅力ある職場の実現

- 働きやすい職場環境の確保
- ダイバーシティの推進
- 人材の育成
- 健康増進と労働安全の推進



05

ガバナンスの強化

- コーポレート・ガバナンスの強化
- コンプライアンスの強化
- リスクマネジメントの強化



04

環境への配慮

- 製品ライフサイクルにおける環境配慮
- 事業所活動における環境負荷低減



次ページ以降の活動事例に記載しているGC(日本)とは、株式会社ジーシーおよび株式会社ジーシーR&D.Mfgを中心に日本のジーシーグループを示しています。本誌に掲載している製品は取扱いのない国や地域もございます。

高齢化が進む社会への貢献

FDIとのパートナーシッププロジェクト 「OHAP(Oral health for an ageing population)」

ジーシーグループでは、世界の歯科界での共通問題を解決することを目的にFDI(国際歯科連盟)とのパートナーシップを結んでいます。高齢化が進む社会への貢献活動としてパートナーシッププロジェクト「OHAP(Oral health for an ageing population)」を進め、高齢患者の健康状態・介護の要否レベルに応じた治療指針を取りまとめたチェアサイドガイドを発表しています。現在は、実践的な活動ができるヒントやコツが示されたリーフレットのさらなるアップデートが協議されています。

この活動は各国に共有されており、世界的に高齢化が進む社会の課題解決につながる事が期待されます。



OHAP 第1回ルツェルン会議



OHAPで作成されたチェアサイドガイド

お口の機能低下を測定する 機器の販売と啓発活動

加齢に伴い健康な状態からフレイルという状態を経て要介護状態に至ると言われています。フレイルの段階は健康と要介護の間にある可逆的な状態なので、ここで手を打つことがポイントです。

口腔においてもオーラルフレイルという概念が注目され、加齢による口腔機能低下(「感覚」「咀嚼」「嚥下」「唾液分泌」等の機能が低下してくる症状)を早期に発見または診断することで生涯にわたり、食べることを楽しみ、会話に花を咲かせ、笑顔が続く健康長寿を支えることができます。

ジーシーグループでは咀嚼能力を測るための「ジーシーグルコセンサー™ GS-II N」や、舌の圧力を測定する「JMS舌圧測定器」、咬合力を可視化する「デンタルプレスケール™ II」を高齢化が進む日本と韓国で販売しています。日本では口腔機能低下症の検査機器として保険適用となり、セミナーも多数行っています。韓国でも学会で展示するなど営業活動をしており、歯科大学、歯科衛生士学校など教育機関への導入を増やすことで学術情報を積極的に発信しています。



口腔機能低下症への取り組みを紹介したWebセミナー



韓国の学術展示会場における製品説明の様子



ジーシー グルコセンサー™ GS-II N

JMS舌圧測定器

デンタルプレスケール™ II

新しい歯科医療課題への対応

先進医療として有効性が確認された 金属に代わる

CAD/CAM冠^{*1}材料の開発

日本では保険診療でのクラウン(むし歯治療後のかぶせもの)は多くの場合、銀歯などの貴金属が使用されていました。しかし強度などのメリットがある一方、審美性やアレルギー、原材料高騰による医療費の負担増加など課題もありました。

GC(日本)では金属の代替材料として、無機フィラーで強化されたレジン(白く強度の高いプラスチック)の強度と耐久性を一層高め、CAD/CAM技術に対応した「ジーシー グラディア™ ブロック」の開発、製品化に成功しました。

「ジーシー グラディア™ ブロック」で作製された小白歯のクラウンは先進医療として評価され、2014年に新しく保険収載されました。その後、強度や摩耗性を高めた「ジーシー セラスマート™」を開発し、広く一般の歯科診療所での普及に至りました。現在は、小白歯だけでなく大白歯^{*2}や前歯など幅広い範囲に保険適用されています。

※1 CAD/CAM冠:日本の保険診療でできる白いかぶせもので、セラミックとプラスチックを混ぜ合わせた高強度ブロックをコンピューターで形状を設計、それを機械加工したもの ※2 条件あり



高い強度、耐久性、審美性を持つジーシー セラスマート™

子どものMIH(エナメル質形成不全)の 改善に向けた活動

MIHは永久歯の生え変わりの時に特定の歯に起こるエナメル質形成不全(歯の形成不全)で、疫学調査によると世界で約7人に1人^{*3,4}の子どもにあるとされており、近年問題となっています。GC Europeではシンポジウムなどを通じてこの課題や対処法を発信するとともに、歯科医師向けの案内や患者向けのリーフレットも作成しています。



歯科医師向けの案内

※3 Schwendicke F., Elhennawy K., Reda S., Bekes K., Manton D.J., Krois J. Global burden of molar incisor hypomineralization. J Dent, 2018; 68: 10-18.

※4 Zhao D., Dong B., Yu D., Ren Q. & Sun Y. The prevalence of molar incisor hypomineralization: evidence from 70 studies. Int J Paediatr Dent, 2018; 28: 170-179.

妊娠中の 健康リスク軽減に向けた取り組み

インドネシアでは妊産婦の死亡率が高く、原因の一つとしては子癇前症や産後出血も考えられ、歯周病と関連があると言われています。

そこでGC Indonesia(GC Asia)では歯科医師、助産師、保健所、グローバル口腔保健グループ(GOHIG)、グローバル保健大学コンソーシアム(CUGH)と協力し産前ケアのための“Ante Natal Care Innovative project”(産前産後ケア革新プロジェクト)に取り組んでいます。このプロジェクトでは、産前ケアに口腔衛生管理を取り入れることで、妊娠中や産後の健康リスクを低減することを目的とし、母親のみならず父親も含めて働きかけを行っています。



大学研究機関とのコラボレーションによる イノベティブな製品開発

新しい予防の形を創造した イノベティブな製品「MIペースト™」

メルボルン大学のエリック・レイノルズ教授と共同研究を行い、レイノルズ教授の開発した口腔内環境の緩衝作用、中和作用を持つ牛乳由来成分のCPP-ACP(リカルデント™)を含む「GC Tooth Mousse(日本販売名:ジーシー MIペースト™)」を開発しました。

その後も関連するイノベティブな製品開発を継続し、2004年の発売以来、販売本数を増やしロングセラー製品となっています。

レイノルズ教授、ジーシーグループおよびリカルデントガムのモンデリーズ社は、両社の製品で20億豪ドルの世界売上を達成したレガシー製品として評価され、2021年にCooperative Research Australiaより「CRA Enduring Industry Research Collaboration Award」受賞。



フレーバーにもこだわり、定番のミント、ストロベリー、メロン以外にもバニラ、ヨーグルトなど個性的なフレーバーもラインナップ。

リカルデント™およびリカルデントロゴはライセンスに基づき使用するMondelēz International groupの商標です。

産・学・官で連携、医療分野における 世界初の合成炭酸アパタイトを 主成分とした顆粒状の骨補填材

これまで化学合成では不可能であった、顆粒やブロック状の炭酸アパタイトの合成が九州大学の石川邦夫教授の研究により成功したことをきっかけにプロジェクトが始動し、GC(日本)にて顆粒状の骨補填材の製品化を行うこととなりました。実際の歯科治療で使えるよう安定的に量産できる技術を確認し、徳島大学、東京医科歯科大学、九州大学での臨床試験を行いました。その安全性と有効性から日本初の歯科用インプラントとの併用が認められた顆粒状の骨補填材として「サイトランス™ グラニュール」は薬事承認に至り、2018年に日本で、2022年にGC Americaで発売されています。



第1回 日本オープンイノベーション大賞※1にて選考委員会特別賞を受賞、第46回(令和3年度)井上春成賞※2を受賞しました。

主催: ※1 内閣府 ※2 井上春成賞委員会



ジーシー サイトランス™ グラニュール

「TMDUオープンイノベーション共創制度※3」 に基づく包括連携協定を締結

GC(日本)は2022年6月9日に国立大学法人東京医科歯科大学と「TMDUオープンイノベーション共創制度」に基づく包括連携協定を締結しました。

協定は海外研究施設との連携を促進し、人材交流による研究者の育成や、国際的に価値ある研究を進める目的があり、新たな製品の創出と事業拡大へつなげ、世界のQOL(Quality of Life)向上を支え、「生きる力を支える医療」として一層の役割を果たすことを目指します。

※3 TMDU(東京医科歯科大学)と企業が、共通のビジョン・目的・戦略のもとでの「組織」対「組織」の連携体制を築き、本格的、多角的な連携を実現する制度。

【協定内容】

1. 口腔機能の維持・向上から全身への健康寿命延伸を目指し、歯周治療を含む歯科再生医療と、口腔機能の維持・向上のための検査、開発を促進し、臨床的有用性の高い情報や製品を創出します。
2. 東京医科歯科大学附属病院先端歯科診療センターにクリニカルラボを設置し、臨床的に有用なアイデアの創出と、研究のアウトプットから社会実装を円滑に進めます。
3. 本包括連携協定強化のプレゼンスとして、クリニカルラボにネーミングライツを実施し、「GC CLINICAL LABORATORY」とします。



(右から)東京医科歯科大学 学長 田中雄二郎先生、株式会社ジーシー 代表取締役社長 中尾潔貴

新興国へ向けた スマートクオリティ製品の 創出

新興国の口腔健康向上を目指した 現地ニーズにあった製品の開発

ジーシーグループでは、世界中の誰もが口腔健康を得られるように、新興国のニーズにあったスマートクオリティ製品を開発しています。より多くの方々に価値を届けるために販売する国や地域の市場調査を実施し、現地の歯科治療に求められる機能や性能、品質と価格の最適バランスを実現するべくニーズに即した製品を開発し販売しています。



SOLARE™ Sculpt
(ソラーレ™ スカルプト)

むし歯を削った後に詰める充填材料で、コンポジットレジジンという樹脂と微細な無機粉末の複合材料です。光を使って硬化させることで歯の形態や機能や審美性を回復することができます。色調も現地ニーズにあったものとし、経済性とともスマートクオリティな製品となっています。



GC Gold Label HS Posterior EXTRA
(ゴールドラベルRエクストラ)

充填材料の一種となります。ガラスイオノマーセメントというフッ素を徐放し歯質への接着性とむし歯の予防効果がある製品です。新興国で想定される限られた治療器具での治療時、例えば手作業となる手用エキスカベータでのむし歯除去に多少の取り残しがある場合でも、充填後はフッ素による歯質強化が期待でき、より多くの環境でも使用できるため人気の製品となっています。



FLEXCEED
(フレキシード)

インド工場で生産しているシリコン印象材です。インドや、南アジア、東南アジア、東ヨーロッパの新興国で販売されており、インド市場においてはNo.1のマーケットシェアを獲得しています。現地で生産することにより、現地の雇用を創出し、人々のQOLの向上にも貢献しています。

口腔衛生向上のためのボランティア

ジーシーグループでは口腔衛生向上のために、非営利団体など口腔ケアプログラム・プロジェクト活動を行っている組織・個人と連携し、世界各地でボランティア活動を支援しています。

GC Taiwan

GC Taiwanでは、台北醫學大學が行っているアフリカの
エスワティニ王国での口腔衛生教育、予防啓発活動に賛同し、
歯科材料を通じてサポートしています。
村や学校、診療所において口腔環境の向上を目指して行われ
たこの活動は今年で8年目となります。



アフリカのエスワティニ王国での活動

GC America

GC Americaでは米国内の様々な団体を継続的にサポート
しています。NCOHF-National Children's Oral Health
FoundationやWorld of Smilesなどの非営利団体に製品
等を通じて支援しており、その活動はアメリカ国内だけで
なく、国境を越えてドミニカ共和国などのカリブ海地域や
ラテンアメリカにも広がっています。
また、シカゴ近郊で無料歯科診療を行っているCDSF
(Chicago Dental Society Foundation) の理事をGC
Americaの施設に招き、リトリート(研修会)を行いました。
交流を深めることによってさらなるCSR活動の発展を
目指しています。



World of Smilesが支援する子どもたち

GC Europe

GC Europeではタンザニア、マダガスカルなどのアフリ
カ、ネパール、カンボジアなどのアジアやキューバといっ
た中米地域など、世界各国で広くボランティア活動を支援
しています。製品を通じた支援だけでなく、子どもたちへ
の予防教育も行っています。子どもたちが日々の習慣を変
え、親世代よりも良い口腔衛生水準を維持できるように、
そして親も適切な口腔ケアができるようになることを目的
としています。



マダガスカルでの活動の様子。むし歯治療がメインでしたが、あらゆる年齢層の歯を失った患者への対応も行いました。

大災害時の緊急援助と 歯科診療の復興に向けた取り組み

トルコ・シリア地震への対応

ジーシーグループでは2023年2月6日に発生したトルコ・シリア地震に対する緊急支援として製品の寄付などを行いました。

この支援はトルコ歯科医師会を通じて被災地に送られ、震災直後から仮設診療所で無料の歯科治療が行われるなど、被災地の方々の口腔健康を守るための取り組みや、歯科医療を提供できる環境を再建するための物理的、財政的な援助に充てられました。

また2023年7月初旬には最高顧問中尾眞とGC Europe社長がトルコ歯科医師会やTurkish Dental Businessmen Association (DiŞSIAD)を訪問し、今回の震災についても御見舞を申し上げるとともに10万ユーロ分の製品の寄付やジーシーグループとしての支援策をご説明しました。

今後も歯科診療復興のために被災地とのコミュニケーションを通して状況の把握に努め、製品支援などを継続していきます。



最高顧問中尾眞によるトルコ歯科医師会とDiŞSIADへの訪問

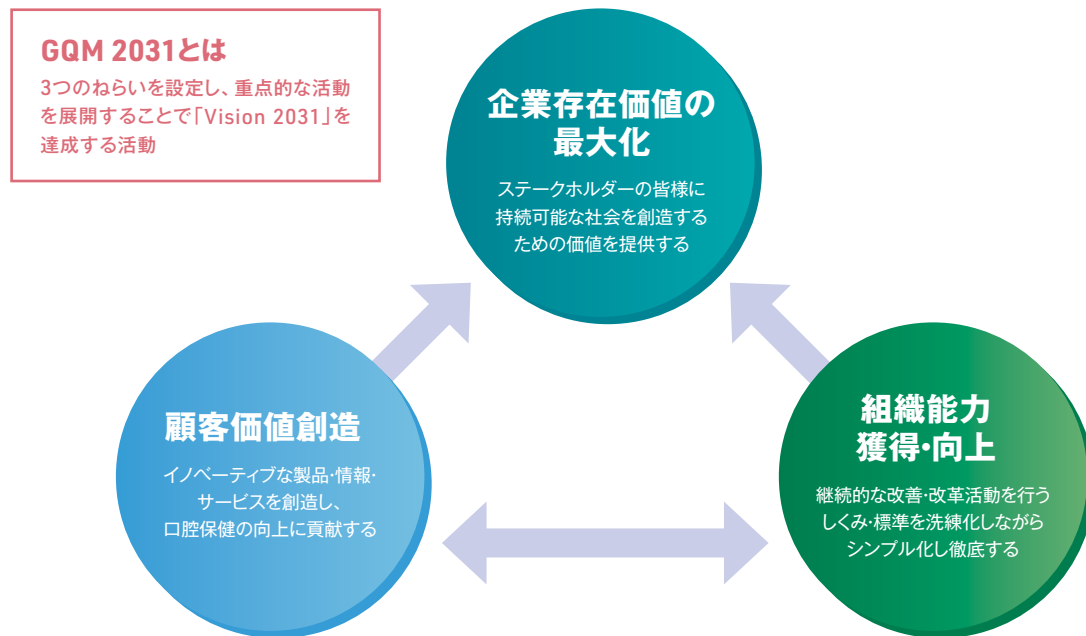


GQM(GC's Quality Management)活動

ジーシーグループでは1981年、社は「施無畏」を体現した経営理念「社会貢献」「品質第一」「なかま集団」を掲げて独自の全社的品質管理GQC(GC's Quality Control)の導入を宣言しました。1995年にはGQCをGQM(GC's Quality Management)活

動に発展させ、2022年には、Vision 2031達成に向け「企業存在価値の最大化」「顧客価値創造」「組織能力獲得・向上」の3つのねらいを設定し企業品質向上に向けた取り組みを推進しています。

Vision 2031の達成 GQM 2031コンセプト



GQM活動の推進の結果、日本においては2000年にTQM(総合的品質管理)に関する世界最高ランクの賞であるデミング賞を受賞しました。さらにGC AmericaやGC Suzhouでも受賞し、GC Europeでは、欧州品質管理財団が授与する中で最高位のEFQM Global Excellence Award 2019を受賞しています。

また、2023年に発表された第11回「企業の品質経営度調査^{*}」では、最高評価の5つ星をいただいています。

※主催：一般財団法人 日本科学技術連盟 後援：株式会社日本経済新聞社、日本商工会議所、東京商工会議所 調査・解析：株式会社日経リサーチ

GQM活動の取り組み

トップ診断

会社の方針が各部内でどのように理解され展開されているか、どの程度実施され末端まで浸透しているのかを、社長・経営幹部が年1回グループ・各部の現場に向向いて実施する診断会です。方針や目標の実施状況、社員の意見や要望を聞き「診断書」にまとめ、PDCAを回しながら部署の取り組みのレベルアップを図っています。

KI活動

「仕事の質の向上」の実現に向け、KI(改善・イノベーション)活動を推進しています。各部門でテーマを設定し、毎年5月と11月に開催するKI活動発表大会で相互に啓発することで、全社的な質の向上を図っています。

CFT活動

経営上の緊急かつ重要な課題については、CFT(Cross Functional Team)活動として、部門を横断して多様な経験とスキルを持ったメンバーを集めてチーム編成し、トップダウンで全社的な課題解決に向け、集中的に取り組んでいます。



KI活動世界大会(2016年2月)

セミナー・学術活動

各国でのセミナー・シンポジウムの開催

ジーシーグループでは、世界の各地域で、それぞれのニーズや課題に応じたテーマでセミナーやシンポジウムを開催しています。GC Europeでは、高度な診療・技工設備の整ったGC Campusで最先端の臨床やテクニックを解説するセミナーを行い、例年、歯科医師や歯科技工士など約2,000名が参加しています。GC Americaでも各設備が完備されたEducation Centerを運営しており多くの講演会とハンズオンプログラムを開催しています。また、2023年末にはメキシコに新しいEducation Centerの開設を予定しています。GC(日本)でも患者さんに見立てた実習用のマネキンを有するGC Corporate Center トレーニングルームを中心に、各地で定期的にセミナーを開催しています。このほかGC Asia、GC Korea、GC Taiwan、GC Suzhouなど世界中で学術活動を行っています。

なお、ジーシーグループでは2022年4月に創業100周年を記念した第5回国際歯科シンポジウムを会場(東京)とオンラインのハイブリッドで開催しました。世界各国から112名の著名な講師が講演し、4,200名を超える参加者が集結しました。



審美的要求の高まりを受けて、GC Asiaでは、スピーディーに高い審美性で修復できる術式「インジェクションモルディングテクニック」セミナーを開催



GC Suzhouでは少子高齢化が進む中国で関心が高まっている子どもへの予防・小児歯科分野のセミナーを開催



GC Europe(ベルギー)にあるGC Campus



GC America(シカゴ)にあるGC Education Center



GC Corporate Center(日本)にあるトレーニングルーム



第5回国際歯科シンポジウム

「GC友の会」

ジーシーグループには、歯科医療従事者の方々を対象とした会員組織「GC友の会」があります。この会は、GC(日本)で1956年に「而至友の会」として誕生。現在に至るまで、臨床歯科医師と歯科材料製造者が有益な情報を共有することで、歯科医療の研究や新製品・新技術をより発展させるべく、歯科医療を積極的にサポートし続けています。

現在、日本だけではなく韓国、台湾、インドでも同様の組織を展開しています。また近年では、超高齢社会に対応した情報発信として、高齢者や有病者の患者さんへの歯科臨床や対応方法について、講演会などを通じて積極的に情報発信を行っています。

GC(日本)でのGC友の会活動

新製品情報の提供

- 一般発売に先駆けた新製品紹介
- 会員誌「ジーシーサークル」での最新臨床情報の提供(年4回発行)

ホームページでの情報発信

- 「会員専用ページ」での学術・臨床動画やe-bookなど100タイトル以上の配信
- メールマガジン「GCインターネットだより」での情報の提供

学術情報の提供

- 学術講演会、シンポジウム、配信イベントの開催
- 患者説明用ツールの提供

臨床テクニック・医院スタッフ教育

- ハンズオンセミナー、Webセミナーの開催
- スタッフ向けセミナー開催、教育ツールの提供



GC友の会学術講演会



ハンズオンセミナー

安全と安心をお届けする品質保証体系

品質保証体系とISOの認証取得

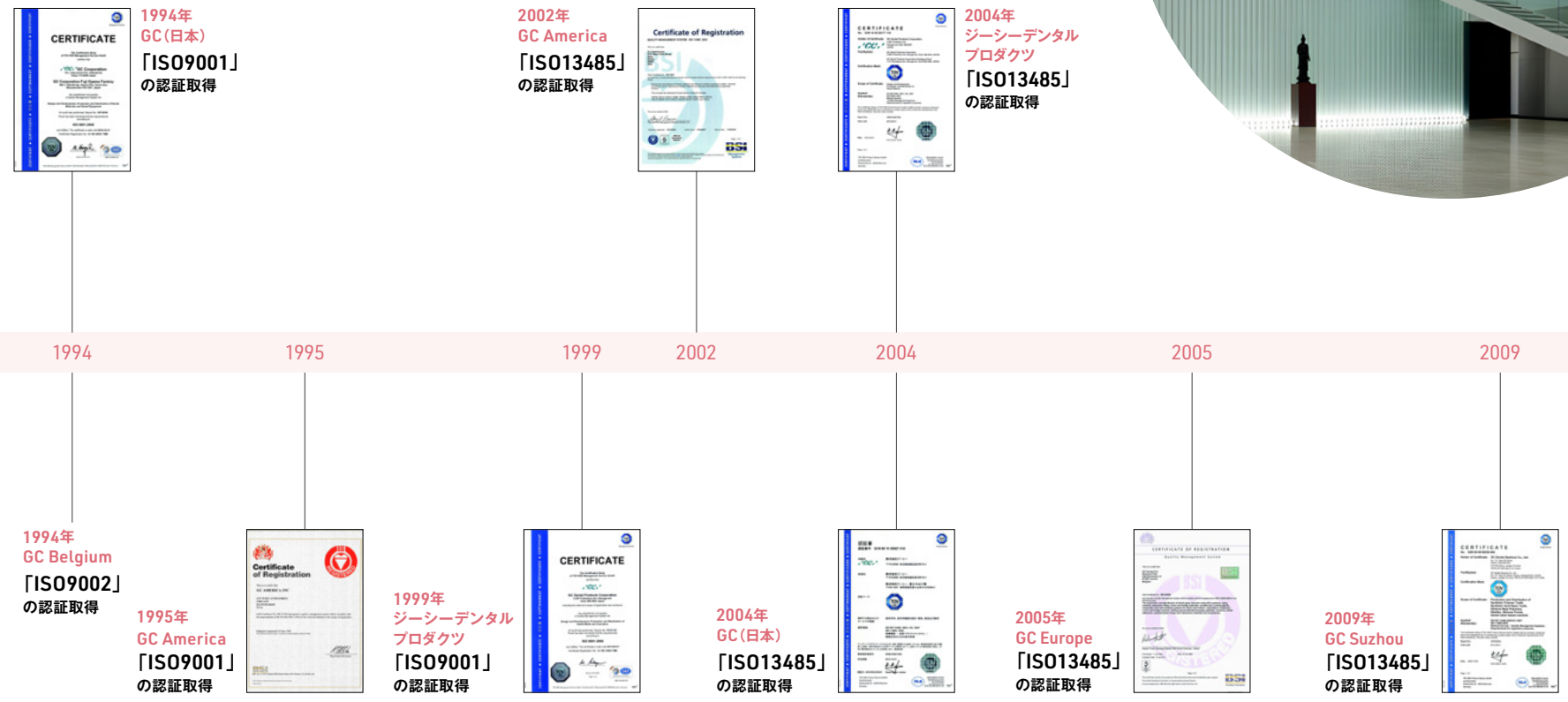
ジーシーグループでは、製品の開発段階から販売・サービス、最終の使用段階に至るまで、一貫して品質保証活動を行う品質保証体系を確立しています。品質保証体系の中では、各プロセスの役割、インプット・アウトプットがきめ細かく定められています。製品開発プロセスでは、製品の組成や構造、製造工程、流通環境、使用環境を考慮したリスクマネジメント活動を行うとともに、商品企画、設計開発、製造工程確立、量産移行前の各ス

トップでデザインレビューを実施し、安全・安心な製品を安定してお届けするための活動を行っています。

GC(日本)は品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」を1994年に業界他社に先駆け認証を取得し、2004年には、医療機器に対応した「ISO13485」も認証を取得しています。特に「ISO13485」はグループの製造拠点でも認証を取得しています。



責任ある製品・サービスの提供



生産技術のレベルアップ

QA認定セクション制度

QA認定セクション制度は製造工程でのトラブルを低減させ、品質つくり込みのレベルアップを図る目的で、1992年にGC(日本)にて導入した制度です。今ではジーシーグループの全社的な活動として定着しており、自ら設定した管理項目の目標達成を目指し、各セクションでQCDSMの観点から課題を抽出し、改善することにより業務の質向上を図っています。品質保証部による予備審査、社長・担当役員による本審査を経て合格したセクションにQA認定証が授与されます。2023年5月時点では、70セクションが認定を受けており、認定後も2年ごとに更新審査が行われています。

GC Suzhouでは設備の自動化および既存設備の改良を事業計画に落とし込み、QA認定取得更新に向けた取り組みを活発に行っています。その結果2022年末までに11セクションが認定を受けています。また2年ごとの更新審査では、認定取得時の状態が維持されていることを結果系評価基準に基づき評価するとともに、QCDSMに基づいた課題抽出と改善活動へ継続的に取り組み、業務の質向上活動が自走されていることを審査した後、更新が認められます。QA認定セクション活動では、更新審査へも適用可能な4種類のベーシック賞「Quality & Information」、「Cost & Efficiency」、「Delivery & Quantity」、「Safety & Morale」を設定しており、2022年末までに15件のベーシック賞を取得しています。



QA認定のための現場巡回(ジーシーデンタルプロダクツ)



蘇州工場のセメント自動包装ライン



社長による本審査(GC(日本))



オンラインでのQA認定審査(GC Suzhou)

サプライチェーン マネジメントの強化

安定的な製品供給のための取り組み

ジーシーグループでは、製品の安定供給のためサプライチェーンのレベル向上活動に取り組んでいます。安定的にフレッシュな製品を供給するため、グローバルで共通の基幹システムを導入し、情報をタイムリーに把握、次の工程につなげています。市場情報を取り込み、工場への展開を行うことで工場はバランスの良い製造計画を立案していきます。その計画はさらに、原料・資材の調達へと展開され、製品の供給が滞りなく行われるよう進めています。これらのしくみは生産部門、物流部門だけでなく、経理部門、経営層ともタイアップすることで最適なサプライチェーンを目指しています。

また、製品をお客様に供給するため各エリアのディーラーとパートナーシップを結び、ディーラーとのコミュニケーションを深化させて安定供給に努めています。GC Asiaでは独自の受発注システムを開発し、様々な形態の受発注を統一のポータル上で一元管理し、正確でスピーディーな受発注業務を行っています。また、このシステムを使うことでディーラーは在庫バランスを確認でき、安定的な製品供給につなげています。次のフェーズでは、適正在庫と販売予測の機能を実装させ、さらなる安定供給を目指しています。

地域にあわせた販売形態

GC Australia(GC Asia)ではニーズや市場環境にあった新たな販売形態を進めています。「GC Tooth Mousse」は当該地域に適用される法令に従い、処方箋が不要であることに鑑み、薬局や小売店で購入できるようにしました。新型コロナウイルス流行禍では、特にお客様の購買ニーズに対応することができました。



働き甲斐のある職場づくり

コンピテンシー向上を目指した取り組み

コンピテンシーとは「職務や役割において優秀な成果を発揮する行動特性」です。ジーシーグループでは2021年10月より、コンピテンシーの考え方を導入しました。コンピテンシーを明確化することで、「ジーシーのあるべき姿」を明らかにし、人材育成を図ることを目的としています。コンピテンシー向上を目

指した取り組みとして、コンピテンシーへの理解を深めて人材育成へ活用するスキルを修得するための社内講師、社外講師による各種研修を実施しています。また、コンピテンシー評価を昇格要件とすることで人材育成へのさらなる活用を進めています。

地域にあわせた人事制度の構築や改善

ジーシーグループでは各国の法規制や風土にあわせた人事制度の構築や改善を行っています。

GC Suzhouでは2019年1月より、コンサルティング会社の協力も得ながら等級制度、評価制度などについて改善を行い、成長へのステップの見える化を実現しました。

また、評価目標の設定基準を明確にするなど運用面の改善を重ねており、今後も中国の実情にマッチする人事制度の追求と社員モチベーションのさらなる向上を進めています。

またGC Europeでは世界的に著名な人材コンサル企業である

コーンフェリー社の協力を得て、76の職務をジョブディスクリプション(職務記述書)に新たに記載し、ハイ手法(職務評価手法)の下記3視点から評価・グレード付けしました。このプロジェクトの主な目的は「役割・機能の明確化」「明確かつ柔軟な等級体系」「自身の役割をベンチマークできるようにする」ことにあります。このプロジェクトの第一フェーズとしてパイロット版をGC Europe本社で行い、明確な等級体系を作成しました。この第一フェーズで得られた結果や経験を活かして、ヨーロッパ各地の拠点でのマトリックス完成に取り組んでいます。

ハイ手法での3つの視点



3つの視点で職務の難易度を評価する



働きやすい職場づくり

なかまのエンゲージメント向上のための取り組み

ジーシーグループでは世論調査などで世界的に著名なギャラップ社とともに「なかまエンゲージメント調査」を2022年より全世界で実施しています。この調査は社員が「会社や仕事が好きなか？」を知るためのもので、調査結果を用いて「社員と会社が価値観やビジョンを共有して、より会社や仕事を好きになってもらう」ために世界共通あるいは各国ごとに様々な施策を考え実施していきます。

エンゲージメントの向上が、なかま一人ひとりの活躍につながり、その成果を会社と社員で分かちあう、そんなサイクルを目指しています。



誰もが安心して働ける休暇／雇用制度

ジーシーグループではなかまが安心して働ける環境を各国の状況にあわせて整えています。GC(日本)では育児や介護、病気療養などライフステージにおける不安に対して、安心して働けるように様々な制度を設けています。

●短時間勤務制度

小学校3年生までの子どもがいる場合は短時間勤務が可能です。

●フレックスタイム制度

職場の密を避けたい会社と柔軟な働き方を希望する社員の要望が合致し、これまで10時～15時であったコアタイムを2019年より13時～14時の1時間と変更しました。

●テレワーク制度

効率的な働き方が求められ、所属するオフィス以外での勤務が可能なテレワーク制度を導入しています。

●限定有給休暇制度

付与されてから2年間で失効する未使用分の有給休暇を上限40日まで『限定有給休暇』として保有し、本人の病気療養や家族の介護・看護など予期せぬ特定の場合に限り有給休暇として使用することができます。

●育児休業制度

子どもが満2歳になる前日まで育児休業を取得できます。2022年4月には早期復職を希望している出産した社員をサポートでき、パパ社員の育児休業の取得を応援する制度に改定しました。

GC Americaのあるシカゴでは、交通渋滞が激しく、ストレス面、環境面でも通勤が課題となっていました。そこで、フレキシブル／リモートワーク方針を制定し、従業員が通勤にかかる負担を軽減しました。通勤によるストレス、コスト全般が軽減され、ワークライフバランスの改善における社員の満足度は一貫して高くなっています。

ジーシーグループは全世界でリモートワーク制度を実施しています。今後も誰もが安心して働けるよりフレキシブルな職場環境を作っていきます。

ダイバーシティの推進

多様な人材の活躍に向けた取り組み

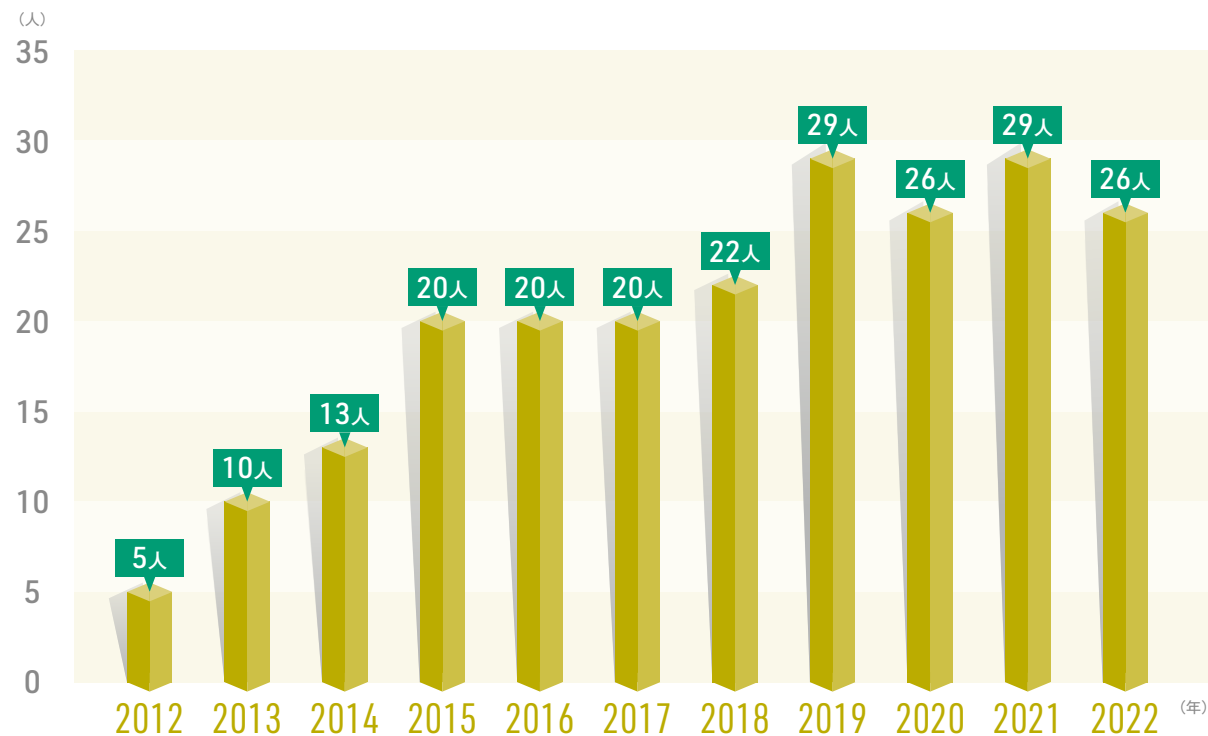
ジーシーグループでは世界各国で3,300名以上のなかまが活躍していますが、ハンディキャップを持った方も活躍いただけるように環境整備を進めています。

GC(日本)では2018年にハンディキャップを持った方の雇用を促進するために包括支援係を設立しました。各部の資材の組み立て、包装や発送業務などを引き受けており、一人ひとりの適性にあった業務ができるようにしています。この取り組みは東京の自治体(文京区役所)の広報にも掲載さ

れました。

またGC Europeでは、エンティリス(労働でのハンディキャップがある方に雇用機会や支援を提供するベルギーの非営利団体)との相互協力のもと、多くのハンディキャップを持った方へ雇用機会が提供され、自立支援につながっています。10年以上にわたる継続的な取り組みは、よりインクルーシブな社会を目指すGC Europeの決意を示しています。

GC Europe でのエンティリスを通じた雇用者数



人材の育成

過去から現在、そして未来の話をする 中尾塾の開催

ジーシーグループを挙げての成長を成し遂げるべく、30年にわたり社長を務めた最高顧問中尾眞が講師となりジーシーの過去から現在、そして未来の話をする「中尾塾」を将来の幹部候補である部長クラス約20名を選抜して開催し、グループの発展に向けたDNAの継承を進めています。さらに、課長クラスを対象にした「NEXT中尾塾」、各部署の30代により深くジーシーグループを知ってもらうため「プレNakaoスクール」など幅広い世代の人材育成を行っています。

海外グループでの 人材育成の取り組み

創業の地、日本で始まった中尾塾ですがグローバルのグループ企業に対しても、「なかま」の考え方を共有し、社である「施無畏」を実践するために、管理職以上のメンバーを日本に招待し、最高顧問中尾眞自らが「ジーシーのこころ」をレクチャーする「海外中尾塾」を5年に一度のペースで開催しています。

2022年からは、海外拠点ごとに中尾塾が開催され、最高顧問中尾眞が講師となりジーシーグループの歴史、哲学を話し、未来に向けての結束を固めています。

eラーニングシステムを使った 社内研修の実施

「なかま」として求められる歯科知識の取得のために受講者の任意のタイミングで学習できるeラーニングシステムを取り入れています。

例えばGC AsiaではMoodleなどのeラーニング用プラットフォームを活用して、ベトナム、インドネシア、タイなどそれぞれの地域に対応した言語でのオンライントレーニングモジュールを立ち上げました。このモジュールを利用し、各自の勤務状況に応じた学習を行うことにより、歯科医療従事者の皆様に迅速に有益な情報をお伝えすることが可能になりました。

魅力ある職場の実現



健康増進

身体の健康に関する取り組み

GC(日本)では、毎年巡回健診、医療機関健診を実施し、定期健康診断全員受診を徹底することで受診率100%を維持しています。また、重大な病気の早期発見などを目的とした二次検査の受診勧奨も徹底しています。

産業医や社内保健師による健康診断結果の確認と二次検査受診勧奨の徹底、各職場で二次検査を受診しやすいよう業務調整するなどの配慮を行うことで、病気の早期発見に努めています。

がん検診の実施

35歳以上の希望者に対して、各種がん検診(胃、大腸、子宮、乳房)を実施しています。受診率向上のため、検査費用の全額補助や健診時に受診の声かけを行っています。

人間ドックの実施

40歳、45歳、50歳、55歳と節目の歳を迎える方を対象に、人間ドックを実施しており、検査費用の全額補助と健診時に受診の声かけを行うことで受診率100%となっています。

GC Americaでも従業員が深刻な病気にならないように予防と定期的な健康診断を重視し、従業員とその配偶者を対象に健康診断を毎年行っています。

心の健康に関する取り組み

ジーシーグループではメンタルヘルス不調の早期発見・早期対応と、メンタルヘルスの維持・向上を目的に心の健康に関する取り組みを行っています。

GC(日本)

GC(日本)では外部臨床心理士による支援のもと、経営層・管理職・なかまそれぞれに向けて必要なメンタルヘルス対策(未然防止・早期発見対応・休職復職支援)を行い、職場環境の改善を進めています。

その結果、2017年度の取り組み開始当初と比較してストレスチェックにおける健康リスク値、高ストレス者率が減少するといった効果がありました。

GC Australia(GC Asia)

GC Australia(GC Asia)ではなかまの健康を支えるため、カウンセリングや柔軟な働き方を取り入れるなど、様々な取り組みを行っています。また、心のリフレッシュを目的とした「メンタルヘルス休暇制度」を導入しており、年2回、1日の休暇であれば医師の診断書がなくても休暇を取得することができます。



労働安全の推進

労働安全の推進へ向けた 各地域での取り組み

ジーシーグループでは各地域の労働安全に対する基準のもと、リスクを体系的に分析し、より安全な労働環境づくりへの取り組みを進めています。

GC Europe

GC Europeでは、ISO45001の枠組みの中で潜在労働リスクを体系的に把握することで、怪我をする前に、危険が潜んでいる状況をしっかりと把握し予防策を講じています。組織を横断した安全文化を醸成し、指示待ちの受け身形ではなく、労働者自身を中心に据えた安全をコンセプトとして改善に取り組んでいます。

その結果、18年間で特定したリスクの93%を削減し、トップクラスの同業他社と同等のパフォーマンスをあげています。

GC America

アメリカではOSHA(Occupational Safety and Health Administration)規制によって従業員の安全に関する要件が定められています。GC AmericaではOSHA規制のもと、安全・環境トレーニングプログラム、ハザード分析、ニアミス認知・報告といった面から安全な作業方法を実施し、積極的に改善に取り組んでいます。

このような取り組みにより、これまでであった軽微な労働災害が減少し、保険業界のリスク評価であるEMR(Experience Modification Rate)が業界標準を下回る水準を達成しました。



COVID-19への対応

ジーシーグループでは各地域での状況に応じたCOVID-19対策を実施し、感染拡大防止に取り組みました。

社内感染リスク低減のために正しいワクチン知識の案内と社内相談窓口の開設、接種場所や予約ルートの案内など社員のワクチン接種に向けたサポートを進めてきました。

GC Suzhou

GC Suzhouではワクチン接種をサポートした結果、2021年5月の時点で50%前後に留まっていたワクチン接種率が95.2%に達しました。また、体温測定・マスク着用・施設消毒・工場来場者履歴管理といった対策の他に、輸入貨物対策、緊急時対応策の強化も実施し、社内クラスターの発生防止に努めてきました。

その結果、中国における新型肺炎緩和措置が全面的に実施された2022年11月まで、社内感染者をゼロに維持することができました。

GC Suzhouでの感染拡大防止の取り組み



守衛所での消毒 貨物PCR
風景

入門前の消毒

GC Indonesia(GC Asia)

GC Indonesia(GC Asia)ではCOVID-19の流行禍でも明るい話題を提供したいと考え、100名の歯科医師との協力のもと、バーチャル合唱団を結成し、“If we hold on together”をオンラインで世界に発信しました。

こうした取り組みにより、世界中のすべての人々に希望を届けることもジーシーの役割の一つであると考えています。



コロナ禍の逆境に立ち向かうため、インドネシア全土から集まった約100名の歯科医師の合唱団

GC America

GC Americaでも同様に従業員へのワクチン接種に対するサポートを行い、社内クラスターの発生防止のために入室審査やPPE(個人防護具)の使用、来訪者や臨時従業員への要件を設定しました。

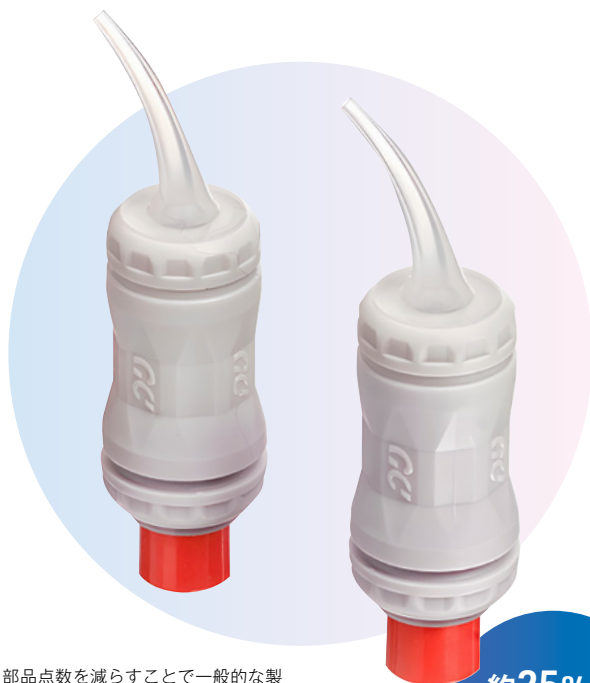


包装材料の見直し

包装材料の見直しによるCO₂排出量の削減

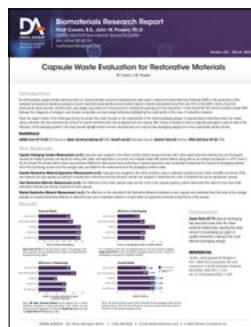
ジーシーグループではCO₂排出量削減のため、環境負荷の少ない包装材料への見直しを進めています。プラスチック使用量の削減、紙やリサイクル素材などCO₂排出量の少ない材料を使用した包材の開発や、間接包材のコンパクト化・軽量化を図ることで輸送時も含めたCO₂排出量削減に取り組んでいます。

また、環境負荷を低減した新素材を使用した包材の導入に向けた研究も進めており、安全性・有効性を追求しながら環境により包装の開発を継続的に行っています。



部品点数を減らすことで一般的な製品より約25%プラスチックの量を削減したカプセル。主力製品「EQUIA Forte™ HT (エクイア フォルテ)」などに使用されています。

約25%の
プラスチック
削減



外部評価機関DENTAL ADVISOR
による評価レポート



包装材料の見直し

プラスチックを使った従来の製品パッケージ



透明プラスチックパッケージ	9.27g
白色プラスチックパッケージ	9.56g
合計	18.83g

EXPERIENCE™ Metal single kit

透明プラスチックパッケージ(プリスター包装)：重さ9.27gと白色プラスチックパッケージ(プリスター包装)：重さ9.56gを用いていました。

紙とカートン紙のみの新しい製品パッケージ

紙と
カートン紙に
変更し
**18.83gの
プラスチック
削減**

年間
**約4.7tの
プラスチック
削減**



紙繊維やカートン紙のみを使用した新包装材はいくつかの製品に使われています。

リサイクルペットを含むラベル素材の採用

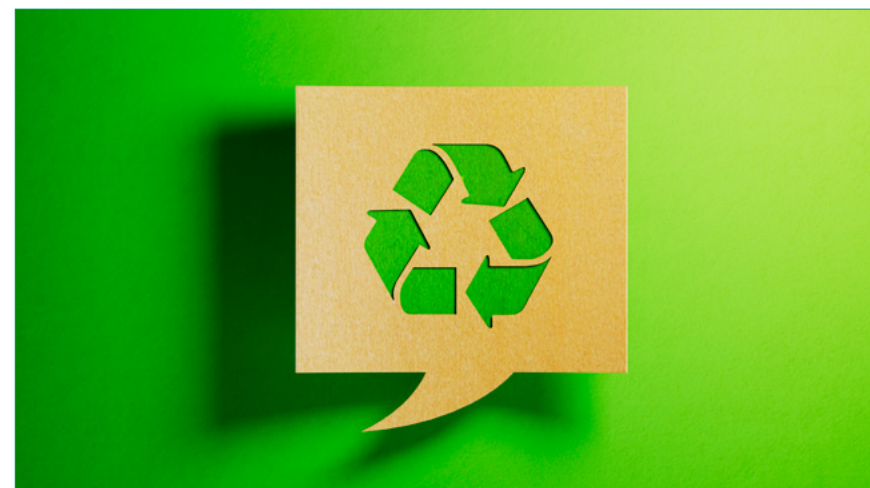
リサイクル
ペット
を採用



世界的に販売量の多いコンポジットレジン製品の一部のラベル素材を環境負荷の少ないリサイクルペットを含む素材に変更。

GC Asia

またオーストラリアやシンガポールでは、一定の売上規模を誇る企業は年間の製品包装材料総重量と、将来の3R(Reduce, Reuse, Recycle)計画を報告することが義務付けられています。このような環境に対する規定を遵守し、環境にも優しい企業を目指しています。



エコ評価シートによるCO₂排出量の把握

「エコ評価シート」で新製品のCO₂排出量を算出

ジーシーグループの「製品アセスメント」では新製品の企画段階で、環境・資源への影響を算出し、環境への負荷を低減できる製品となるように開発を行っています。この内、CO₂排出量については独自の「エコ評価シート」を用いて新製品からどのくらいのCO₂が排出されるかを算出しています。新製品開発の進行の可否を最終的に決める場ではCO₂排出量も評価の対象となるため、企画段階での目標値設定や、資材の検討、組成段階でのCO₂排出量の確認が重要となります。

日本で金属に置き換わる材料として保険適用にもなったCAD/CAM冠用ブロック「ジーシーセラスマート™」は、こうした製造工程の見直しにより、従来品と比べCO₂排出量を38%削減して発売しています。



3R活動を展開、環境に配慮した製品づくり

CO₂排出量の削減だけでなく、水質汚濁防止、有害物質の排除など原料の選定と資材の開発においても検証・改良を重ねています。また、資源を有効活用するために3R(Reduce, Reuse, Recycle)にも積極的に取り組んでいます。GC Americaでは、廃棄物の中でリサイクルできるものがないか定期的に見直しています。これまでは埋め立て地へ送っていた輸送資材のポリプロピレン樹脂ケースをリサイクルすることで、2022年のプラスチックリサイクル量は2021年よりも30%増加しました。これらの活動は販売先となる世界の国々や地域で、その国の環境法規制を考慮した製品づくりにつながっています。

ジーシーグループではこのような環境に配慮した製品の開発や改良を20年以上継続しています。



充填前のMIペースト™の容器がポリプロピレン樹脂ケースに入って、ボール紙で仕切られて届きます。

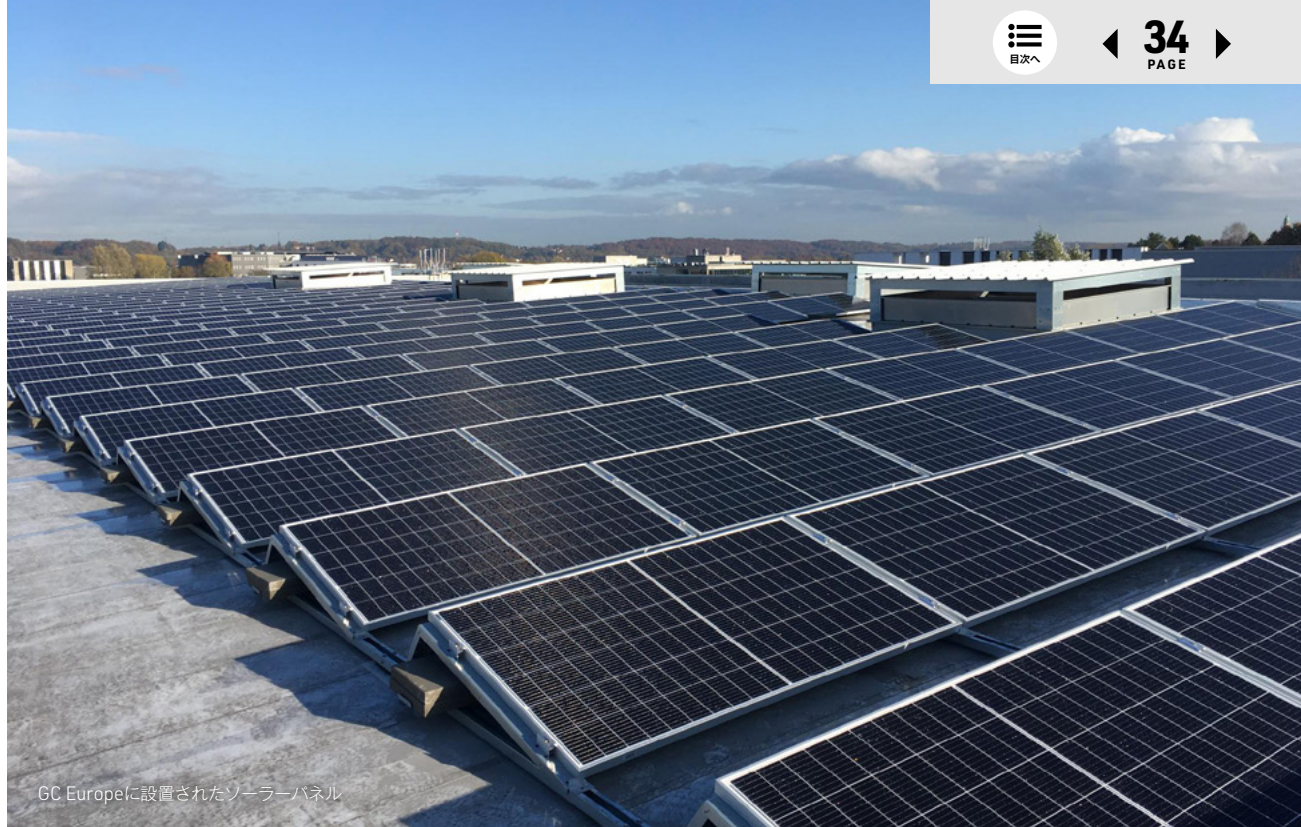


MIペースト™の容器が製造工程に送られると、残った仕切り紙とポリプロピレン樹脂ケースがリサイクルに送られます。

再生可能エネルギー 利用による 環境負荷低減

ソーラーパネル設置による CO₂排出量の削減

ジーシーグループでは主要生産拠点で再生可能エネルギーの利用を進めています。ジーシーグループは2021年に創業100周年を迎えましたが、その記念事業としてソーラーパネル設置のプロジェクトが始まりました。大規模な生産拠点であるGC Europeではソーラーパネルを2019年に設置し2020年に運用を開始しています。発電された電力は、施設の電源として使われるだけでなく、余剰分は送電線に送られ地域のエネルギーとしても活用されます。また、同じく大規模な生産拠点であるGC Americaでも2019年からプロジェクトをスタートし、1,431枚のソーラーパネルを設置しました。現在では130万kWhを超える電力を発電しています。これは、154,000kgのCO₂排出量の削減につながっています。



GC Europeに設置されたソーラーパネル



GC Americaに設置されたソーラーパネル

環境保全に関する活動

環境マネジメントシステムに関する国際規格ISO14001の認証取得

1998年にGC(日本)は、日本の歯科業界で初めて、環境マネジメントシステムに関する国際規格「ISO14001」認証を取得しました。その後、生産工場を持つグループ会社のジーシーデンタルプロダクツが2000年、ジーシーアサヒが2008年、大成歯科工業が2009年に認証を取得しています。グローバル拠点では同じく生産工場を持つGC Europeが2005年、GC Suzhouが2018年、GC Americaが2019年に認証を取得しています。

富士小山工場の環境保全活動

富士小山工場は、1976年から製造を開始して以来積極的に環境保全活動に取り組んできました。環境保全活動は、環境営繕係とジーシーを退職したOBの方々が中心となり行っています。

環境営繕係の主な業務

- 工場の施設、建屋、構内(芝生、植木、森林等)の維持管理
- 環境法規を遵守する活動(工場の生産活動によって生じる排ガス、排出水、騒音等について規制値を守る取り組み)
- 工場内の作業環境測定(有害物質、粉塵等を取り扱う職場の環境測定を行い、作業環境を改善する取り組み)
- 工場から排出される廃棄物の管理および削減に向けた取り組み
- 省エネ、省資源の取り組み



50%という高い水準の緑地面積率を持ち、貴重な動植物のすみかにもなっています。



年2回、構内と周辺地区約5kmにわたり清掃活動などの環境ボランティアを行っており、2023年には80名規模となりました。

こうした取り組みにより、富士小山工場は緑化率の維持・向上、地域環境との調和や配慮、ならびに地域社会とのコミュニケーションなどが評価され、経済産業省の緑化優良工場等表彰制度において賞を受賞しました。

富士小山工場の環境に取り組む姿勢は時代とともにさらに深化し続けています。それは工場で働くなかまたちの誇りとなっています。

揮発性有機化合物(VOC)の処理技術の改善

GC Suzhouの工場では大気汚染の問題にも取り組んでいます。工場から大気へ放出するVOCを低減させるため、VOC処理施設をダブル活性炭吸収方法に変更しました。これによりVOCの吸収率は41%から58%になり、大気中への排出量を低減させています。



GC Suzhouのダブル活性炭施設

省エネルギーの推進

照明のLED化、空調設備などの見直し

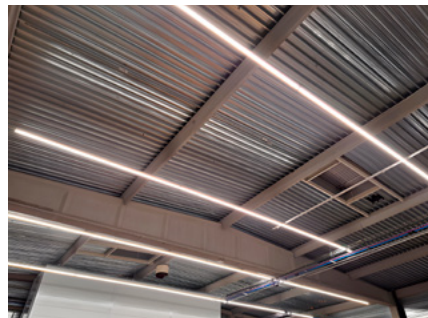
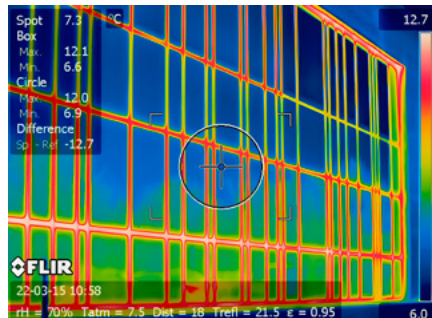
GC(日本)の富士小山工場では省エネ、CO₂排出量の削減のために工場内の全照明器具2,216本のLED化を2021年に完了しています。これによる電気使用削減量は年間191,466kWh[※]、CO₂削減量は84.4t[※]となっています。

また空調設備では、ハイブリッドファンやサーキュレーターを導入することで空調効率が向上し省エネにつながっています。

※規定稼働日数、稼働時間および東京電力2022年度CO₂排出係数にて算出

GC Europeでも照明器具のLED化、旧式の空調設備の刷新、ソーラーパネルの設置など、エネルギー消費量を最小限に抑えるための設備の見直しを進めています。

また、サーモグラフィーを使用して建物内の断熱効果を解析し、高性能の断熱素材に置き換えるなどエネルギー効率の最適化を徹底しています。



サーモグラフィーにより建物内の改善箇所を解析。

従来の蛍光灯からLED照明への交換で消費エネルギーを52%削減しただけでなくメンテナンス時間も削減されました。



コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスの強化

コーポレート・ガバナンス強化の目的は、企業の不祥事を防ぐことはもちろんですが、長期的な企業価値・業績を向上させることにあります。ステークホルダーへの価値を高めるために、私たちが取り組まなければならない活動について、ルール・手段・手順を明確にすることが求められています。ジーシーグループでは“真のグローバル企業となる”をテーマとしてコーポレート・ガバナンスの強化を推進しています。

BoardとExecutive Committeeの2-Tier(二層)体制

コーポレート・ガバナンスの強化の取り組みとして、ジーシーグループでは2022年より2-Tier体制をスタートさせました。これは客観性と透明性を高めるために社外取締役を加えた承認を行う“Board”と、その承認を受けた案件を執行する

“Executive Committee”の2つの機関を設け、承認と執行の役割を明確に分離する体制で、これによりグループの重要案件について迅速な意思決定が可能となりました。



社外取締役を含めたBoardメンバー



Executive Committeeメンバー



コンプライアンス

各地域の法規制に基づいた対応

ジーシーグループでは各地域の法規制に基づき、コンプライアンスの取り組みを行っています。

GC Suzhou

GC Suzhouでは2021年に施行された中国の『個人情報保護法』を遵守するために対応を行いました。中国国内の方の個人情報の収集と利用、管理においてGC(日本)の法務室とコミュニケーションを密にし、審査部門と審査基準を明確にすることで個人情報の適正かつ効果的な活用を行っています。

また、中国環境法規制を厳格に守るために、管理ソフトを使用して廃棄物の一括管理をしています。これによりあらゆる危険廃棄物の環境への流出を防ぎ、法的要求に基づいて処理しています。

GC Europe

GC Europeでは、個人データやプライバシーの保護に関する規定であるGDPR(General Data Protection Regulation)の遵守に努め、従業員およびお客様のデータを保護するために、適切なポリシーとセキュリティシステムを導入しています。データ保護担当者を任命し、今後も継続的なチェックを実施していきます。

GC(日本)

GC(日本)では、法務室が中心となり、コンプライアンスの社内徹底を図っており、入社時の基本的なコンプライアンス研修や、その後の階層別教育で適宜必要な教育を行っています。加えて、専門分野に必要な法規の解説など、各部署で変化する業務内容にあわせた教育も実施することで、なかま一人ひとりが「目の前の業務を正しく遂行する」ことを徹底しています。

ハラスメント防止のための取り組み

ハラスメント防止に関する取り組みも各国で行われており、GC Americaでは職場のコミュニケーションや行動に関する会社や法律の要件について正しく理解できるように、年次のハラスメント防止トレーニングを実施しました。

GC Suzhouでは、健全な職場環境を維持することを目的として「GC Suzhouハラスメント防止手順書」を作成し、工場全員を対象にしたハラスメント防止教育を実施しています。

その結果、社員満足度調査での職場でのハラスメント対策についての満足度は100%を達成しました。今後もオープンで透明性の高い職場環境の整備に注力していきます。



リスクマネジメント

定期的な研修による ITリテラシーの向上

ジーシーグループではPCやネットワークの厳格なセキュリティ対策の実施に加え、「人」をターゲットにしたサイバー攻撃への対策として、セキュリティ教育に特化したeラーニングプラットフォームを活用した研修を全グループ社員を対象に行っています。

また、研修の効果を測定するために、その時々で流行しているサイバー攻撃の内容を盛り込んだ模擬試験も行っています。試験は過去9回行っており、最新の試験での不合格率は1回目の試験から約6分の1まで減少するなど、定期的なオンライン研修により社員のITリテラシーは向上しています。今後も皆様の情報や機密情報をサイバー攻撃から守るために、なにかま一人ひとりのセキュリティ意識を常に高い状態に保っていきます。

BCP(Business Continuity Plan: 事業継続計画) への取り組み

大地震や台風・集中豪雨に伴う洪水被害、ウイルス感染症の大流行などの大規模災害が発生した場合においても、業界のトップメーカーとしての供給責任を果たさなければなりません。

ジーシーグループでは事前に想定されるリスクを抽出し、リスクの防止や低減への対策を行い、事業活動を継続していくために中期経営計画に基づきBCPの策定を推進し、リスク回避にさらに取り組んでいきます。



「施無畏」の精神を受け継ぎ、 これまでの100年、そしてこれからの100年へ。



編集方針

ジーシーグループでは、これまで株式会社ジーシーとして毎年CSR報告書を発行してきました。2011年度版からはその報告対象範囲を広げ、ジーシーグループ全体の取り組み内容を記載しています。

2023年度版では持続可能な社会への取り組みとして、5つのマテリアリティ(重要課題)を軸に活動報告を展開し、読みやすく、わかりやすい報告書を目指しています。

ジーシーグループのCSR活動や、本報告書をご覧になってのご意見、ご感想を、右記メールアドレスまで是非お寄せ下さい。今後の活動の参考とさせていただきます。

主な報告対象組織

株式会社ジーシー	GC International AG
株式会社ジーシーR&D.Mfg	GC Europe AG
株式会社ジーシーデンタルプロダクツ	GC Europe N.V.
株式会社ジーシーアサヒ	GC America Inc
大成歯科工業株式会社	GC Asia Dental Pte. Ltd
株式会社デンタルダイヤモンド社	GC Taiwan Dental Corp.
株式会社日本歯科商社	GC Korea Co., Ltd
株式会社ジーシー昭和薬品	GC Dental (Suzhou) Co., Ltd

報告対象期間

本報告書は、2022年4月1日から2023年3月31日までの活動内容を記載していますが、一部内容については期間外の活動を含んでいます。

参考にしたガイドライン

- 環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」
- 日本規格協会発行「日本語訳 ISO26000 社会的責任に関する手引(第一版)」
- GRI「GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード」

✉ gccsr@mls.gcdental.co.jp